

かごしま

棚田通信

K A G O S H I M A T A N A D A T S U S H I N

[たなだつうしん]
平成27年1月

TAKE FREE
ご自由に
お取り下さい

棚田・未来への継承

人の絆が棚田を創る



表紙写真：霧島市小牧の棚田

山あいの傾斜地を切り開き、石を積み重ねて土を盛り、谷の水を引いて造られた階段状の水田を「棚田」と呼んでいます。私たちの先祖が、機械もなかった時代に想像もできないほどの時間と労力をかけて、一枚一枚切り開き、長年守り継いできた棚田は歴史遺産とも言うべきものです。

棚田は、お米を作るだけでなく、土壌の浸食防止や雨水を貯留して、洪水や水不足から守っており、また多様な生き物の生息場所ともなっているのです。私たちは先祖の知恵がぎっしり詰まった棚田を守り、未来へ受け継ぐことが大切です。



棚田の役割・保全



棚田・棚畑ってなんだろう??

山の斜面や谷間にある段々の田んぼや畑のことを「棚田」「棚畑」といいます。畦の重なる形が棚に似ていることから、そのように呼ばれるようになりました。

また、小さなものまで数えれば千枚にも達することから、別名「千枚田」や「段々畑」とも呼ばれています。棚田や棚畑は、山間の高いところに多く、訪れる人の多くが「懐かしい」と感じる原風景であり、私たちの先祖が機械もなかった時代に想像もできないほどの時間と労力をかけて、一枚一枚切り開き、そして、長年守り継いできた大切な文化遺産とも言うべきものです。しかしながら、棚田での仕事の大変さや棚田に住む人たちの高齢化や集落人口の減少などで、どんどん耕作が放棄され、県内でも消滅する棚田が増えています。

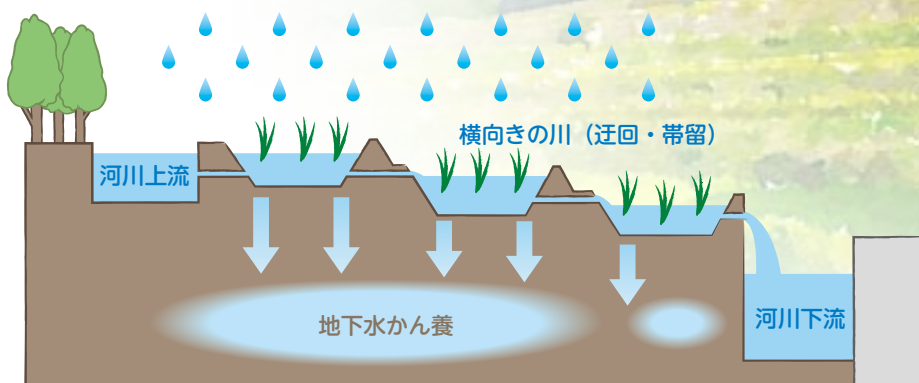
棚田の役割ってなんだろう??

① 棚田は環境を守る役割があります。

森や棚田が水を貯め、地下にゆっくりと浸透させるおかげで、平野は、洪水や水不足から守られています。

緑のダム

「畦」が降った雨をたっぷり蓄え、地滑りや洪水・鉄砲水、また土が流れ出るのを防ぎ、平野を守っています。また、水を枯らさず、土を流さずゆっくりと川へ流し海に流れ出ます。



② 棚田は生きものを育みます。

棚田に水が入ると、いろいろな生きものがやってきます。

生きものや植物の天国

棚田の田んぼには、さまざまな生きものが生息しています。山の水がきれいなので イモリ、カエル、ホタルなど多くの生きものがいます。田んぼに水が入ると、ゲンゴロウ、ホタルの幼虫などが現れます。また、色々な草花などの植物も育ちます。これらの生きものや植物は、毎年、農家の人たちが米づくりをするおかげで、稲の生長とともに生きていけるのです。



ニホンアカガエル



ゲンゴロウ



オナガサナエ

③ 保健・休養機能があります。

見る人の心を癒してくれます。

癒しの空間

山々に抱かれ、日本人に馴染みの深い米を実らせてきた棚田のたたずまいは、多くの人に安堵感をもたらし、棚田を流れる清涼な水や澄んだ空気と相まりストレス社会で疲弊した人々の心を癒し、リフレッシュする効果を発揮します。



かごしまフォト農美展「棚田の秋」 池田孝

棚田が果たす役割は、近年、広く評価されるようになってきました。この役割が生み出す恩恵は、農村地域だけでなく、都市部に暮らす人々にとっても重要なものであります。

その棚田の減少や地域の衰退をくい止めるために、農家だけでなく、都市部に住む一般市民にも棚田に関心を持ってもらい、そこで行われる様々な保全活動に参加するなど棚田を守っていく必要があります。

農業体験ができる棚田

ほんみょうしろ

鹿児島市本名町

本名後の棚田

〈お問い合わせ〉 鹿児島市吉田農林事務所 ☎ 099-294-1217

米づくり体験・餅つき体験



- 所在地 / 鹿児島市本名町武野
(鹿児島市吉田農林事務所より車で 20 分)
- 面積 / 6.5ha
- 棚田等の枚数 / 40 枚
- 体験・イベント情報等
- ◎農業体験
米づくり体験 / (参加料) 大人300円 子供200円
餅つき (収穫祭) 体験 / (参加料) 大人500円 子供300円
- ◎オーナー募集 (米づくり体験込み)
(料金) 13,000円 (年間)
(特典) モミ30キロ・餅3キロ・地元の野菜など

おこば

日置市東市来町

尾木場の棚田

〈お問い合わせ〉 日置市東市来支所 産業建設課 ☎ 099-274-2114

米づくり体験・山菜狩り



- 所在地 / 日置市東市来町養母
(東市来駅より車で 20 分)
- 面積 / 3.9ha
- 棚田等の枚数 / 60 枚
- 体験・イベント情報等
- ◎農業体験
米づくり体験 / (料金) 13,000円 (年間) (特典) モミ33キロ
- ◎イベント情報
棚田散策&山菜狩り / (参加料) 1グループ4名程度2,500円
昼食代別途 (4月上旬開催)
(特典) たけのこ5キロまで
- 高山ふるさと秋祭り / 餅つき体験・こんにゃくの手作り体験
物産品販売など (11月下旬開催)

うちのお

薩摩川内市入来町

内之尾の棚田

〈お問い合わせ〉 薩摩川内市入来支所 地域振興課 ☎ 0996-44-3111

米づくり体験・彼岸花の植えつけ体験・リバーズクール



●所在地 / 薩摩川内市入来町浦之名内之尾
(入来支所より車で 20 分)

●面積 / 10.9ha

●棚田等の枚数 / 75 枚

●体験・イベント情報等

◎農業体験

米づくり体験 / (参加料) 大人500円 子供300円

◎イベント情報

八重山高原星物語 / (参加料) 1,000円 (保険料含む) (8月上旬開催)
リバーズクール (内之尾川と棚田の自然観察)
星の観察・理科実験など

てらのもと

薩摩郡さつま町

寺元の棚田

〈お問い合わせ〉 さつま町役場 薩摩耕地林務係 ☎ 0996-53-1111

米づくり体験・南高梅収穫体験



●所在地 / 薩摩郡さつま町永野
(さつま町薩摩総合支所より車で 15 分)

●面積 / 3.1ha

●棚田等の枚数 / 75 枚

●体験・イベント情報等

◎オーナー募集(米づくり体験込み)

(料金) 1口100㎡あたり15,000円(年間)

(特典) モミ35キロ・地元の野菜など

◎イベント情報

南高梅収穫祭(料金) 大人500円 (特典) 南高梅10キロ

さつま永野ウォーキング大会(2月中旬)

(料金) 大人1,000円 高校生以下500円(保険料含む)

※寺元の棚田を歩くコースもあります。



萬田農園
〈霧島市〉
10/26

農業・農村体験バスツアー ～霧島市溝辺町竹子の棚田で稲刈り体験！～

平成26年10月26日、都市住民交流の農業・農村体験バスツアーが霧島市で開催された。これは、鹿児島県が実施している「中山間ふるさと・水と土保全推進（棚田）事業」の一環で、都市部に住む小学生以上の親子を対象に、棚田の持つ役割や働きを学び、地域住民との交流体験を通して、棚田保全活動への関心を深めてもらうことを目的に開催している。

今回は、鹿児島市内を中心に親子ら12組34名が参加し、溝辺町竹子（たかぜ）にある「萬田農園」で、カマを使って稲を刈り、竹を組んだ「馬」に掛け干しする作業を体験した。子どもたちのカマの扱いを心配したが、作業を始めてみると、指導にあたった大人が感心するくらい手際よく稲を刈り取っていた。

昼食後は室内学習が行われ、萬田農園主宰（元鹿児島大学農学部教授）の萬田正治氏から、合鴨農法やお米の話を伺った。無農薬農業を実践されている話は、子どもの健康に関心の高い親にとっては、特に興味深い内容で、熱心に耳を傾けていた。

参加者からは「カマを使うのは、最初は怖かったけど、楽しかった」（小学3年生）、「昔の人の苦労がわかった」（小学4年生）、「きれいな川があり、ヤギやカモもいて、私もここに住みたいと思った」（小学5年生）、「農業の大変さ、大切さ、ありがたさを学んだような気がする」（30代女性）、「日頃は体験させてやれ

ない稲刈りに参加できて良かった」（40代女性）等の声が寄せられた。

年1回開催のこのバスツアーは、気軽に楽しく参加できることから毎回好評を得ている。今回も、農作業や遊びを通して、棚田保全や農業・農村の持つ役割などについて親子で一緒に考え、体験する一日となったようだ。



稲刈り体験終了後、全員で記念撮影

バスツアーにご協力いただいた「竹子の里の萬田農園」

萬田 正治氏 インタビュー



たかぜ
竹子の里 萬田農園

〒899-6402

鹿児島県霧島市溝辺町竹子1408-1

TEL 0995-59-2854

<http://www.mct.ne.jp/users/manda/>

萬田農園は霧島市の北西部に位置する竹子地区にあり、遠くに霧島連山を仰ぎ見ることができます。

農園経営者で鹿児島大学名誉教授の萬田正治さんは、澄んだ空気と清らかな水に囲まれた山里で、合鴨を水田に放し、除草・除虫を行う無農薬棚田米を作っています。また大学生や農業従事者へ指導をしたり、地域活性化のためにいろいろな活動をされています。

1 合鴨農法・有機農業の研究をはじめたきっかけ

本来の専門は畜産で、飼料となる稲ワラを有効活用するなど、水田農業と畜産を繋ぐ研究をしていました。また、大学生の頃から、体や自然環境にやさしい農業（無農薬・有機）を目指していました。1990年綾町で農業の講演会があり、そこで合鴨農法の先駆者「古野隆雄氏」に出会い、水田農業と畜産を繋ぐ家畜が牛豚鶏でなく、合鴨（水鳥）だと気づかされました。合鴨を水田に放し、除草・除虫をし、糞を肥料とする無農薬・有機農業が20代から求めていた農法だと確信して研究を始めました。

2 竹子（たかぜ）地区を選ばれた理由

無農薬や合鴨農法を実践するには、川の上流で生活排水などで水が汚染されないことが必要です。

竹子は、若い頃から憧れていた棚田があり、水がきれいという条件に合致する土地だったので、住まいをここに決めました。また外部からの影響を受けにくく、結果が良く見えるということで、大学の合同研究プロジェクトが竹子で始まり、愛着のある土地になりました。

3 竹子地区で農業を始めて、まわりはどのような変化がありましたか

竹子は県内で先進的に合鴨農法に取り組んでいるところであり、メディアの取材などで知名度が高くなりました。地元の直売所「竹子の里 きらく館」を作り、作物の販売や住民交流を図ることで、お年寄りや小さな農家の方々が元気になりました。

さらに兼業農家として生活したい家族が移住され、住民数も増えてきました。

4 現在の食の安全性について

消費者は農薬使用の有無だけで、安全性を決めています。食べ物を通して、命の安全性しか考えていないようです。食の安全性を求めるのなら、自然環境を守ることです。自然環境が健全であれば、安全な食べ物ができ、命を守ることになります。一面からでなく、多面的な考えをもってほしいと思います。

5 中山間地域での農業について

中山間地域は平野部と比べ、水田が小さく、収穫量も少ないです。農業だけで生計を立てることは相当な努力が必要です。このような地域で暮らすには、農産物の付加価値を高めたり、農業外収入を得るなどの工夫が必要です。

6 これから先の棚田・棚畑の展望について

棚田・棚畑は、傾斜などの立地条件により生産効率が悪く、多くの労力を要する上に、都市部より高齢化、人口減少等が進行しており、決して明るいとは言えない現状です。消費者の方々に耕作者（田主）になってもらい、自分たちの健康のために休日だけは農家として、棚田を守る活動に参加してほしいものです。

7 萬田先生の目指す農業について

家族の生計を支えるためには、農業以外で働くことも必要ですが、自分で食べる物は、可能な限り自給自足の生活をめざしていきたいと思います。体に良い作物を作ることは、環境にも優しい農業と言うことになります。自然の中で汗を流し、収穫の喜びを感じ、収穫したものを安心して食べるという本来の姿を目指したいと思います。

美しい原風景が残る

鹿児島県内の棚田



鹿児島市
郡山町

やえ 八重の棚田

〈お問い合わせ〉
鹿児島市郡山農林事務所 ☎ 099-298-4861



- 所在地 / 鹿児島市郡山町八重
(国道328号線入来峠「八重山公園入口交差点」を左折し約5分)
- 面積 / 12.4ha
- 棚田等の枚数 / 240 枚

周辺には、鹿児島市の中心部を流れる甲突川の源流「甲突池」や、キャンプなどを楽しめる八重山公園があります。

棚田の向こうに、鹿児島市街地や桜島、錦江湾を一望する最高の景色が広がります。

薩摩郡
さつま町

しろざる 白猿の棚田

〈お問い合わせ〉
さつま町役場 薩摩耕地林務係 ☎ 0996-53-1111



- 所在地 / 薩摩郡さつま町中津川
(さつま町中津川小学校より車で10分)
- 面積 / 5.0ha
- 棚田等の枚数 / 70 枚

山奥深いところに位置する白猿の棚田の高く積まれた石積みは、たいへん見応えがあります。

棚田についてのお問い合わせ先

■ 鹿児島県 農村振興課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL.099-286-3108 FAX.099-286-5589

■ 鹿児島県土地改良事業団体連合会 事業部 農村整備課 棚田等保全協議会かごしま（事務局）

〒892-8543 鹿児島市名山町10-22
TEL.099-223-6135 FAX.099-224-6228

かごしま

棚田通信

TANADATSUSHIN